

デジタルでつなぐ、祭りと地域の未来 — 岸和田市作才町会における自治会DXの挑戦 —

大阪府岸和田市 岸和田市作才町会

近年、全国の自治会・町内会において、担い手不足や高齢化、加入率の低下といった課題が深刻化しています。岸和田市作才町会においても例外ではなく、従来の回覧板を中心とした情報伝達や、役員・班長の高齢化による配布・回収といった運営方法に大きな負担がかかっていました。その結果、「役員を担いたくない」という理由で自治会から距離を置く住民も増え、地域のつながりの希薄化が懸念されていました。

また、岸和田市は古くからだんじり祭りで活気ある地域であり、地域住民の結束や誇りを象徴する存在として祭り文化が受け継がれてきました。しかし近年では、自治会活動と同様に祭りにおいても担い手不足が顕在化しており、若い世代の参加減少や



作才町だんじり祭りの様子

関わりの希薄化が課題となっています。地域の象徴であるだんじりを未来へつなぐためにも、新たな仕組みづくりが求められていました。

こうした背景のもと、「地域のつながりを維持しながら、持続可能な自治会運営と祭り文化の継承を実現できないか」という問題意識から、町会長自ら、時代に合った持続可能な町会運営の必要性及び地域のつながりを次世代につないでいくことを見据え、デジタル推進委員会を中心に地域支援アプリ「結ネット」の導入に取り組みしました。

本取り組みの目的は大きく3つあります。1つは、自治会運営における役員の負担軽減です。2つ目は、地域住民一人ひとりに



曳行コースや
祭礼予定も
アプリで確認！

作才町会アプリ「結ネット」
は、町内会が発信した情報を、
スマホやパソコンなどで見ること
ができる 町内会運営アプリで
す。町内会の情報を集約し入
手、共有することができ、従来の
紙の 回覧板に代わる効果的な
情報伝達手段となります。
また、災害時には安否確認ツ
ールとして活用できます。

町会員・認定団体専用
作才町会
アプリ
『結ネット』
ご家族も加入可

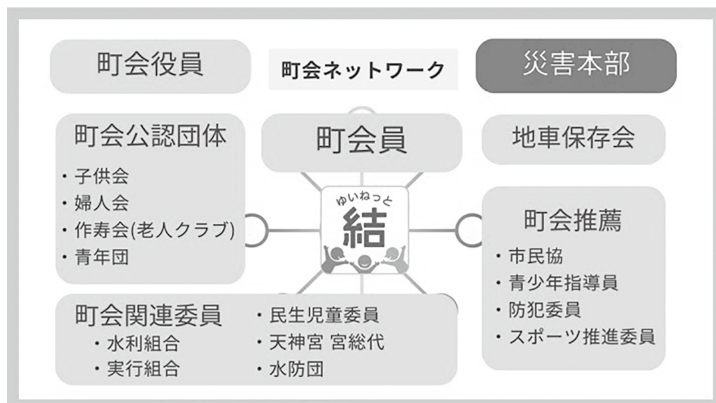
回覧板 掲示板 行事予定 安否確認
(災害時)

まずはアプリのダウンロード！

QRコード

iPhone アンドロイド

作才町会アプリ「結ネット」のPR



結ネットでつながる町会ネットワーク

情報が確実に届く仕組みを構築し、孤独・孤立を防ぐこと。そして3つ目は、祭りをはじめとした地域活動への参加機会を広げ、次世代の担い手を育てることです。単なる効率化にとどまらず、「誰一人取り残さない地域づくり」と「地域文化の継承」を両立することを目指しました。

具体的な活動としては、地域支援アプリ「結ネット」を活用し、回覧板やお知らせのデジタル化を進めました。これにより、従来は数日から一週間以上かかっていた情報伝達が即時化され、住民はスマートフォンからいつでも必要な情報を確認できるようになりました。また、情報発信により既読の状況を可視化できるようになり、「世帯別に閲覧しているか」が把握できるようになったことも大きな変化です。

さらに、祭りに関する情報発信や参加呼びかけにも活用することで、これまで関わりの薄かった住民にも情報が届くようになりました。準備や運営に関する情報共有がスムーズになり、「少し手伝ってみよう」といった新たな参加のきっかけを生み出しています。デジタルを通じて、祭りと地域住民との距離を縮めることができました。

また、災害時の安否確認機能により、仕事等で集まるのが難しい方でも参加でき、より実効性の高い防災訓練の実施が可能と



アプリ操作サポート会の様子1

なりました。平時の利便性だけでなく、有事の安心にもつながる仕組みとして、地域の防災力向上にも寄与しています。

導入にあたっては、「デジタルが苦手な方への配慮」を最も重視しました。高齢者を対象とした説明会や個別サポートを繰り返し実施し、スマートフォン操作に不安のある方にも丁寧に寄り添うことで、徐々に利用者を増やしていきました。その結果、「思ったより簡単」「町内放送は聞こえないがこれならどこにいても情報が分かるので安心」と



防災安否確認説明



アプリ操作サポート会の様子2

いった声が多く寄せられるようになりました。

また、役員側からも「回覧の負担が減った」「情報発信がスムーズになった」といった評価があり、運営の効率化を実感する声広がっています。これまで見えにくかった自治会活動や祭り準備の過程がデジタルによって「見える化」されたことで、若い世代の理解と関心が高まり、加入や参加促進にもつながっています。

さらに、本取り組みにより、情報伝達の迅速化や役員負担の軽減に加え、これまで接点の少なかった住民の参加意識にも変化が見られました。特に、祭りや地域活動に対して「関わりたい機会がなかった」という層に情報が届くことで、新たな担い手の芽が生まれつつあります。また、本モデルは特別な設備を必要とせず、他地域でも導入しやすい再現性の高い取り組みである点も特徴です。

本取り組みを通じて実感したのは、デジタルは単なる効率化の手段ではなく、「人と人とのつながりを守り、次世代へつなぎ支える」基盤であるということです。地域の温かさ

や支え合い、そして祭りに象徴される文化を未来へ引き継ぐために、デジタルは大きな可能性を持っています。

今後は、さらなる利用促進とともに、未加入世帯へのアプローチや若い世代の参画促進を進め、自治会と祭りの双方における担い手の創出につなげていきたいと考えています。地域の伝統と新しい仕組みを融合させながら、持続可能な地域づくりを進めていきます。

作才町会の取り組みが、同様の課題を抱える全国の自治会にとって一つの参考となり、「地域のチカラ」を再認識するきっかけとなれば幸いです。

(岸和田市作才町会 町会長 山田龍己
デジタル推進委員 氏原正樹)

アプリで繋がる作才町

回覧板 掲示板 行事予定 安否確認 (災害時)

災害訓練モード

試験実施のご案内

今回「結ネット」の災害訓練モードの試験実施をいたします。町会の皆様に訓練試験にご参加いただけるように、アプリのダウンロード、ログインにご協力をお願いします。

実施日 11月16日(日) 試験開始10:30 (会館で参加の場合10:20迄に集合)

場所 ご自宅、外出先、作才町会館など(自由)
操作に不安な方は町会館にお集まりください

訓練試験終了後、アプリ操作相談会も実施します。

作才町会アプリ「結ネット」は、町内会が発信した情報を、スマホやパソコンなどで見ることができる町内会運営アプリです。町内会の情報を素早く入手・共有することができ、従来の紙の回覧板に代わる効果的な情報伝達手段となります。また、災害時には安否確認ツールとして活用できます。

アプリ画面イメージ (災害時)

「結ネット」災害訓練モード試験実施のご案内